

2019年 我が社の環境



加藤
聰氏

ガラス再資源化協議会 代表幹事
(クリスタルクレイ取締役会長)

マテリアルリサイクルの時代に 拡大生産者責任の意識を

。メンバー12社による「太陽光パネルガラスのりサイクル技術やモデル事業の輸出を全国に広げよう」という決意です。
――今後の課題は?
「欧米では有機物質は建材向けに人工粘土の開発を組んでいます。
前は大学にカラスの学科や無機工学というのが

世界の太陽光発電市場の中でも、米国は最も堅調だ。トランプ政権により米国は環境問題に対し野だと書いてある。

こうした三治時代の技術革新による需要増もあって、米国では太陽電池製造への設備投資も堅調だ。米国メーカーは高効率パネルの開発・製造に必要なハイエンド装置を求めて

建築用自動車は同じ力
で引いて運びます。
共にソーダ石灰で作
られたガラスで、旭硝子の
日本本場硝子でも、会社の
ガラスペニー制で、自
車と運搬車に分かれています。

当社では「アーラー・エルネクネットワーク」という名称で北海道から九州までペートナー企業に当社の技術を提供し、同レベルの検査が可能

「ソイク」の「ソイク」は、その場を確保するために市帽の受け入れを減らすためのものですが、これが問題が発生して、その原因が影や汚れに影響する場合があります。

電量の原発は、業界の議論が賛成派で、GRCMは反対派で、年次に設立されました。リーン購入法に先立つて、ガラス資源化に関する行政との連携、大学機関、産業界との連携、

調にの愛媛は当社の松山へ18年間で、現地に導入する。四国では、サイクル車としてリサイクル車の開始する予定だ。現在、産業廃棄物の処理業の許可取得の研究を進めている。

工場
廻京
業を
めた
のた
手続
中間
行し、環境に貢
きた！」

ビスを提供する
ない。その改
し、付加価値を
術・サービスペ
り、リ

ありましたが、
う東京工業大学
大學もなにな
聞企業の研究開
けているのが、
欧米の大学で、
行われています
Oや産業技術大
マル

企業は他
が生か
付いた技
に先
献してい